

## 令和2年第3回 湖南省臨時教育委員会会議録

1. 開催日時 令和2年8月25日（火） 午前10時から午後0時13分まで

2. 開催場所 湖南省役所西庁舎 3階 大会議室

3. 会議に出席した委員

谷 口 茂 雄  
岩 城 見 一  
森 本 ゆかり  
伊 藤 真 昭  
古 川 美智子

4. 会議に欠席した委員 なし

5. 会議に出席した事務局職員 10名

6. 会議を傍聴した人 2名

7. 会議案件

日程第1 議案第48号

令和3年度使用教科用図書の採択について

日程第2 議案第49号

後援名義の使用承諾について

OMIOサッカースクール湖南校体験会

日程第3 協議事項

(1) その他

会議の開会 午前10時

教育長

教科用図書の第二採択地区での採択協議を終え、法律上、第二採択地区を構成する各市の教育委員会で最終決定を行うのがこの場です。今年には私が経験した中では初めての再審議がありました。決まるまで真剣に議論しました。

湖南省も第二採択地区の協議会に、私と、教育委員代表と、保護者代

表として石部中学校のPTA会長に出ていただきました。

第二採択地区の協議会までに教科書検討会を2回開催しました。丁寧に研究したことも、第二採択地区に反映させられたと思っています。

本日は、第二採択地区ではこの教科書が採択されましたという報告です。事前の意見交換会、教科書研究会を参考にもう一度、審議し、徹底していきます。どうぞよろしくお願いいたします。

本日は傍聴にも来ていただきました。ありがとうございます。

それでは日程第1、議案第48号、令和3年度使用教科用図書の採択について、学校教育課から説明をお願いします。

事務局

委員の皆様は事前の研究会、ほんとうに長い期間でしたが、ありがとうございました。

公立の各小中学校で使用する教科用図書の採択については、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律の規定により採択地区協議会が設置されます。採択地区協議会で行われた教科用図書選定の結果に基づき、各市町教育委員会で年度ごとに採択することになっています。

本市が所属する教科用図書第二採択地区協議会の規程です。この教科用第二採択地区協議会は、草津市、栗東市、守山市、野洲市、甲賀市、湖南市の6市で構成されており、それぞれの教育長、教育委員代表、保護者代表を委員とする協議会です。この協議会において、第二採択地区内の各市立小中学校で使用する教科用図書が選定されます。

次に、本日、議決を求めること、並びに第二採択地区での教科用図書選定までの経緯と結果について説明します。

今年度は、中学校用教科書全教科の採択替えの年です。さらに、小中学校特別支援学級一般図書の採択替えも行います。現在までに協議会を3回、代表協議会を1回、幹事会を3回開催しました。併せて、5月21日から7月上旬にかけて、各市より選出された委員による調査委員会を開催し、厳正かつ精密な調査を行いました。当初予定していました7月30日と8月4日に加えて、8月12日の協議会では、委員長より調査報告を受け選定し、決議を行いました。

小学校が通常学級で使用する教科書の一覧と理由、特別支援学級で使用する教科書の一覧をご覧ください。特別支援学級で使用する教科書は、学校教育法附則第9条の規定により、文部科学省著作本と検定本以外にも絵本などの一般図書からも選定することができます。

知的障害特別支援学級用は、社会科において、「ふるさと60年 戦後の日本とわたしたちの歩み」、「名人はっけんまちたんけん！3くらしをささえるひと」、「名人はっけんまちたんけん！4まもるひと」、「名人はっけんまちたんけん！5そだてる・とるひと」、「楽しく遊ぶ学ば

よのなかの図鑑」の5冊が新たに選定されました。

続いて中学校の通常学級で使用する教科書の一覧と理由、中学校特別支援学級の一覧をご覧ください。中学校特別支援学級は、理科において、「ふしぎをためすかがく図鑑 しぜんあそび」、「講談社の動く図鑑 MOVEはじめてのずかん みちかないきもの」、「くらしに役立つ 理科」の3冊が新たに選定されました。保健体育科においては、「DVD&完全ビジュアル すべての子どもが必ずできる 体育の基本」の1冊が新たに選定されました。

なお、弱視学級は、通常学級で採択された教科用図書の拡大版と文部科学省著作本の点字版の教科用図書を選定しています。

続いて、協議会において調査委員長より報告されました調査結果の概要について説明します。

まず各教科の選定理由を読み上げまして、調査委員長が調査した結果として付け加えたことの概要をお伝えします。

国語、光村図書です。「学習過程が明確に示されている。『話すこと・聞くこと』、『書くこと』では、テーマ設定が生徒の生活実態に即しており、他領域と結び付けて学習展開できる。巻末には、情報整理の方法が整理された表があり理解しやすい。人権教育に十分配慮された多様な作品やメディアリテラシーの大切さを実感できる教材が扱われている」

光村図書は、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の教材バランスが非常によいという評価です。とりわけ「書くこと」の教材が豊富で、活用する力の土台となる学習につなげることができると考えます。古典教材も充実し、イラスト等で視覚的にも見やすく編集されています。また、現代的な諸課題についての観点では、人権教育に十分配慮され、戦争や環境、メディアリテラシーなど、幅広く全般的に取り上げられているという調査報告でした。

東京書籍は、漫画をうまく取り入れているところがよいです。学びの扉というコーナーで取り上げ、さらに漫画の内容から学びを支える言葉の力のコーナーでは、深く学べるようにステップアップする工夫がされています。しかし、「話すこと・聞くこと」の教材が少なく、話し合い活動の単元も少ないです。

三省堂は、読むことの教材の最後に、「学びの道しるべ」というコーナーがあり、「内容を整理する」「読みを深める」「自分の考えを深める」という項目で、中学生の発達段階を考慮し、分かりやすく明確に提示しています。しかし、「書くこと」の教材は他社に比べてやや少ないです。

教育出版は、一番評価が低く、全体的に視覚に訴える工夫が少なく、中学生にとっては読みにくいという指摘がありました。

- 教育長 1種目ずつ説明し、後で討論したいと思います。  
国語は第二採択地区として光村図書を採択します。湖南省でも、光村図書が一番いいのではないかと考えています。
- 委員 湖南省は、1人は光村図書を推しました。もう1人の方は必ずしも今の調査委員会の結論とは一致せず、むしろ情報を提供するという点では、調査委員会が一番悪いとした教育出版のほうが様々な情報や本の紹介などの情報提供という点では優れているのではないかという意見でした。ですから、全面的に湖南省と一致したというわけではなく、別の意見もありました。
- 教育長 教育出版の広がる本の世界というコーナーは、本の紹介が一番多いです。これをどう評価するのが問題です。各教科書会社においても読書へのいざないで、本をたくさん紹介しています。子どもの読書の領域を広げていくことは、教員が大事にしなければならないことだと思います。  
光村図書は、京都大学学長がゴリラの生態を取り上げてエッセイ風に書かれていました。これを人権の観点から読んでいくと、とても効果的です。ゴリラは怖いという、作られた見せ方ではなく、人権の観点からも深く学べるなと思って読ませていただきました。
- 委員 教育出版は、なかなか本に親しむことができない子どもや親がたくさんいる中で、この本がいいよと單元ごとに書いてあり、中学校の頃にあまり本を読まなかった私としては、すごくいいなと思いました。
- 教育長 東京書籍も読書への招待というページを持っていますし、三省堂も読書紹介を多数しています。光村図書も読書へのいざないで本を紹介しており、各社とも読者に本を読ませようとしています。
- 委員 全員が一致して決める必要はなく、1人は反対だったという記録を残しておくのも大事なことだと思います。何もかもが全員一致である必要はないと思います。  
この間の選定委員会の中でも反対意見はありました。しかし、「みんな大体同じような意見だからこれにしましょう」という形で決まりました。しかし、何人かは反対だったということを記録として残しておくほうが、審査の方法としては公平だったということが記録として残ると思います。

教育長 中学校国語科は、第二採択地区協議会としては光村図書を採択しましたが、湖南省教育委員会としてはそれ以外の意見もあったということです。ただし、教育委員会全体としては光村図書を了承します。よろしいですか。

各委員 — 全員承諾 —

事務局 書写、教育出版です。「筆順や中心線、注意点等、意識させたいところが見て分かるように示されている。単元のポイントを問題提起的に示し、言語活動を通してより深い思考を喚起できる。また、教材は、実際場面を想定しており、カリキュラム・マネジメントに対応している。文字文化に関するコラムや資料が豊富である。今日的な諸課題を意識した内容も多岐に富んでいる」

教育出版は、筆順や中心線、注意点が記され、生徒たちに意識させたいところが見て分かるように示されています。資料が4社の中で最も多く、写真が豊富に使われており、視覚的に理解しやすい工夫がされています。また、デジタルコンテンツとして、毛筆教材文字の運筆動画を見ることができます。また、著名な歴史上の人物の残した文字の紹介、日本建築と書のページなど、興味を引く視点が多いです。

東京書籍は、1年生で学習した行書の4つの基本的な動きを2年生の行書の学習で生かせるよう工夫されていますが、やや活用が難しいです。

三省堂は、全体として情報が少なめです。

光村図書は、ほかの文字を書くときにも活用できる基礎・基本・原理・原則が示されているものの、情報量が少ないと考えました。

教育長 書写の教科書は、第二採択地区としては教育出版です。湖南省の事前の研究会でも、書写については結構割れていましたね。

委員 参考までに、1人は三省堂、光村図書、東京書籍、教育出版で、もう1人は、教育出版、光村図書、東京書籍、三省堂の順番でした。

教育長 東京書籍の姿勢と筆記用具の持ち方というのは、これは湖南省の立腰のスタイルが一番合っていると思いましたが、総合的には教育出版になるのか、と自分を納得させているところです。

第二採択地区で採択した教科書は、市ごとに変えられません。過去に、八重山教科書問題というものがありました。社会科で、第二採択地区ではA社を選んだが、教育委員会では、「B社のほうがいい」と言ってB社に決定しました。その件で、文部科学省とも揉めました。そのことが

あってから法律が変わりました。義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律の一部を改正する法律というのがあり、「採択地区協議会における協議の結果に基づき」という文言が入りました。「に基づき、種目ごとに同一の教科用図書を採択しなければならない」という決まりがありますので、現在の法律では、第二採択地区が採択をした教科書を追認することになります。

それでは、書写については、第二採択地区の教育出版、これを採択するというところでよろしいですか。

各委員

— 全員承諾 —

事務局

地理、帝国書院です。「学習目標に対応した振り返りが設定され、学習内容の定着を図ることができる構成となっている。学んだ地域の課題と自分たちとの関わりを意識して、主体的に学習を進められるコーナーが設定されている。QRコードが数多く掲載されており、自主的に学習に取り組めるよう工夫されている。環境、防災、共生、SDGsに関連した内容が充実している」

4社ともそれぞれの観点において大きく逸脱したものはなく、優劣がつけ難かったというのが全体の印象でした。

東京書籍はコラムなどの数が若干少ないです。

教育出版は、知識を充実させたり、技能を身につけたりする箇所が若干少ないです。

日本文教出版は、コラムの数が全体的に少ないという印象がありました。

委員

湖南省は2人で教科書を読んで第二採択地区で推薦しましたが、2人とも帝国書院ではありませんでした。1人は日本文教出版で、1人は教育出版推しでした。

私は社会関係を審査した1人ですが、私は日本文教出版がいいと思いました。帝国書院が絶対反対ということではありません。歴史や公民の編集委員の編成に関して、日本文教出版のほうがいいのではないかと思います。地理だけ歴史、公民と違った編集委員によって編集された出版社もありまして、その場合は大学で専門的に教えておられる方ではなく、教育関係者、中等初等教育の中で地理を教えている、地理教育の関係者が編集者になっています。帝国書院もそういう編集者によって編集された教科書です。

教育長

ほかの教科用図書も一緒ですが、どうも調査委員の先生方は、現場で

教えるという立場で選択していますので、教えやすさやバランスを重視されているのかなと思いました。

第二採択地区の委員会の中で、著作者研究も必要ではないかという意見をいただきました。今までの小学校教科用図書においても、どういう専門性を持った方が著作に当たっているかという著作者研究をあまりしていなかったと思います。今後、著作者の研究も教科用図書の調査研究委員会の調査項目の1つに加えていただくという要望を県に出します。地理については帝国書院を選定するという事によろしいでしょうか。

各委員

— 全員承諾 —

事務局

歴史、日本文教出版です。「政治、産業、社会、文化について時代ごとにバランスよく配置し、歴史の流れと各時代の特色が理解しやすい。思考・判断を重視し、それについて表現するような課題があり、基となる資料も豊富で充実している。振り返りは『確認』として説明を求めることで、授業内容を振り返る工夫がされている。写真やコラムが豊富で大変充実している」

日本文教出版は、毎時間の学習課題を「どのように」だけでなく、「なぜ」を問うものもあり、深い思考を促す工夫がされています。

調査委員会では、政治、産業、社会、文化についての内容を時代ごとにバランスよく配置し、歴史の流れと各時代の特色が理解しやすく、思考判断を重視し、それについて表現される工夫がなされていること、毎時間の振り返り、章の振り返りが整理しやすいという点で、東京書籍と帝国書院、日本文教出版の3社が総合的に優れていると判断しました。

東京書籍は、教科書としてのバランスが大変よいです。

帝国書院は、全60ページにわたるコラムの内容が中学生にとって難しいものが多いです。

教育出版は、説明的で知識偏重のため、やや高度であるという意見がありました。

山川出版は、様々な観点から見て、全体的にかなり高度な内容となっています。

育鵬社は、小学校での人物、エピソード学習との違いが感じられないという印象がありました。

学び舎については、知識の定着を意図しただけの説明が多いです。

委員

育鵬社を除くほかの教科書ではあまり差がありませんでしたので、今回、日本文教出版も候補のうちの1つでした。どれか1つと言われると私は教育出版でしたが、日本文教出版も私の中ではAの範囲内です。

委員 私は日本文教出版がいいと思い、推薦していましたので、調査委員会と意見は一致しました。ただ、第二採択地区の審査委員会の中で、調査の仕方がおかしいのではないかと問題提起がなされていました。⑥の項目は、「多様性の尊重」や「人権尊重」、「世界平和」などに対する問題が教科書の中にどれだけ盛り込まれているかを調べるための基準ですが、育鵬社の⑥が、Aになっています。これはほんとうにAでいいのか、育鵬社の教科書は偏っているのではないかという意見が第二採択地区の委員から出ました。

教育長 育鵬社は、古代日本に来た人を帰化人という言い方をして、日本人はすばらしいという意識を持たせようとしています。ほかにも押しつけ憲法という表記に違和感を覚えるという意見がありました。育鵬社については、第二採択地区の調査委員会の調査委員の先生方も同様の思いを持たれていました。

それでは、歴史分野については、湖南省の教育委員会としても日本文教出版の教科書を採択するということがよろしいでしょうか。

各委員 — 全員承諾 —

事務局 公民、日本文教出版です。「『確認』『学習の整理と活用』では、学習内容を振り返り、知識の定着を図りやすくする工夫がある。『シンキングツールマーク』では、その使い方を丁寧に説明しており、思考過程を可視化することで、思考力、判断力を育成する工夫がされている。職業や年金問題など取り組みやすい課題が設定されており、社会参画への意識を高めることができる」

日本文教出版は、「確認」「学習の整理と活用」で、單元ごとに学習の振り返りがなされています。

自由社は、課題の難易度が大変高く設定されています。

育鵬社は、重要語句の基礎的知識の定着を図る工夫や配慮がなされていることは評価できます。しかし「TRY」では、どのような視点で調べるのかが示されていません。また、学習のまとめでは、スモールステップによる課題を解決するための活動の設定がされていないという指摘がありました。

残り4社は甲乙つけ難かったのですが、東京書籍は、多様性の尊重に関して資料の選定や配列などの配慮が不十分でした。

教育出版は、資料の写真に小さいものがあるため、少し見にくいと感じる部分がありました。

帝国書院は、世界平和に関しては一面的な表現がなされているという指摘がありました。

教育長

公民分野も、日本文教出版です。ただ、第二採択地区では日本文教出版に対して反対意見がありました。集団的自衛権のところは改憲につながるのではないかという意見でした。

事務局

草津の委員から、これは改憲に向かう流れを後押しするような内容が書かれているのではないかという意見がありました。それに対して委員長は、憲法解釈を変更し一定の条件を満たす場合には、自衛権の行使を可能としたという記述の後に、変更への批判があるということも併せて書かれていると言われました。客観的な事実ですので、この問題については賛成もあるし、反対の意見も少なくないということが書かれており、問題ないのではないかという報告でした。

教科書では、71ページから73ページです。

委員

私は調査委員長の言われたことが正しいと思います。客観的に改憲の流れが起こっているというのは事実です。

ただ、それは絶対に正しいことではなく、議論になっていると書いてあるので、客観的に記述してどちらがいいという形で加担しているわけではないと理解しました。

委員

私も、議論するべきという意見もあると書かれていますので、両論書いてあると感じました。

教育長

むしろ学校ではそういうことを取り上げて、賛否両論あるということをお教えることが大事ですね。

それでは、公民は第二採択地区と同様、日本文教出版を採択することによってよろしいでしょうか。

各委員

— 全員承諾 —

事務局

地図、帝国書院です。「A4版で地図や主題図が大きく、地理的事象を捉えやすい。資料図、イラスト、写真等がバランスよく配置され、多々地域と比較したり関連付けたりして、主体的に課題に取り組めるよう工夫されている。『環境』のコーナーを設けたり、防災に関する記事を、地震、大雨、噴火など多岐にわたって取り上げたりしている」

教育長	<p>地図は、地理と同じで、帝国書院です。 見やすいですね。帝国書院を採用するということによろしいですか。</p>
各委員	<p>— 全員承諾 —</p>
事務局	<p>数学、啓林館です。「めあてが分かりやすく明示されており、見通しを持つことができる。構成も『例』から『問』の流れで統一されており、スモールステップで基礎・基本の定着を図ることができる。また、表現する力を身に付ける課題の設定もされている。章末問題は習熟度に応じて取り組むことができ、家庭学習を支援するQRコードを活用することができる」</p> <p>東京書籍は、授業の流れに沿って大切にしたいことを整理し、後の学習で意識して取り組めるような工夫がなされているが、量的にやや少なめです。</p> <p>大日本図書は、1時間の授業内容が基本的に見開き2ページになっており、教師にとっても生徒にとっても取り組みやすいです。しかし、章末問題が習熟度別になっておらず、問題数が十分でないという指摘がありました。</p> <p>学校図書は、全体的にやや文字情報が目立ち、写真や図などが少なく、単調な印象です。</p> <p>教育出版は、めあての明示が弱く、見通しを持って学習しにくいです。学んだことを活用して学習内容を深めたり、広げたりする問題や、日常生活や他教科の学習に関する課題について少し量が限られています。</p> <p>数研出版は、めあての表示にややばらつきが見られ、利用のページが設定されている章と設定されていない章があり、分かりづらいという指摘でした。</p> <p>日本文教出版は、視覚的に分かりやすくすっきりとしています。しかし、思考力を深める問題の量が少なく、webマークに関連する問題に直接つなげることができていないと指摘されていました。</p>
委員	<p>私は教育出版がいいと思っていましたが、評価はあまりよくなかったのですね。いいと思っている中に啓林館も入っていますので、啓林館でも異論はございません。</p>
教育長	<p>それでは、湖南省としても、第二採択地区と同じく啓林館を採択するということによろしいですか。</p>
各委員	<p>— 全員承諾 —</p>

事務局

理科、同じく啓林館です。「観察、実験を正しく進めるためのアドバイスが適切に示されている。課題の把握から振り返りまでの学習のサイクルが統一されており、探究的な学習が身に付くように工夫がされている。単元導入では、写真と解説文を用いて生徒の関心を高めたり、生徒自身が成長を実感しやすい構成となっている。各巻において、防災や減災に関するコラムが多い」

大日本図書は、観察、実験には、結果から見て分かることが書かれており、考察する力が養えると考えられます。その反面、計画の立案や振り返りを促す働きかけとしては、全体的に十分でないという印象でした。

学校図書は、観察実験の内容も多く、全てやり切るには時間的な制約が心配されるなど、求める水準が少し高めに設定してあるという指摘でした。

教育出版は、実験の後、すぐに結論が記載されていて、探究の過程を大切にするには不足を感じました。

教育長

理科は、私とA委員が中心で研究しました。2人とも一致したのが啓林館ですね。

事前の研究会で話をしていたことと調査研究委員会の調査結果とはほぼ一致しました。ここについては文句なしで啓林館にしたいと思います。

各委員

— 全員承諾 —

事務局

音楽（一般）、教育芸術社です。「『音楽を形づくっている要素』が適切に配置されており、知覚・感受につながりやすい。表紙見開きのメッセージは生徒が興味関心を持って学びに向かえる工夫がされている。合唱曲は、親しみやすい曲が豊富で、日本歌曲や伝統芸能の鑑賞教材は、生徒の発達段階に応じた配置がされている。『人権』や『平和』にかかわるエピソードが記載されている」

教育芸術社は、紙面がとても魅力的であり、ユニバーサルデザインの視点で誰にでも分かりやすいという工夫がされています。アメイジング・グレイスや、奴隷貿易に関わるエピソードが書かれているなど、意識的に人権や平和に関わるエピソードが配置されています。

器楽、同じく教育芸術社です。「打楽器の奏法に関する内容が充実しており、箏の導入では、家庭式縦譜が示され、技能の習得に有効である。『深めよう！音楽』は、知覚・感受から表現の工夫や学習の深まりにつながる。アルトリコーダーやギターの導入では、仲間と演奏できる曲が配置されている。日本や諸外国の音楽と関連させて、多様性を尊重する

メッセージが記載されている」

教育芸術社は、特に打楽器の奏法に関する内容が充実しており、小学校からの系統性を持って学習するには活用しやすいです。また、表現の工夫や学習の深まりにつなげられる内容になっています。どの楽器でも女性奏者と男性奏者の両方の写真が載せられているという配慮があります。

教育長

これも湖南省は、教育芸術社で一致していましたね。

委員

一致していました。変声期の扱いや、琴と箏についての解説が詳しく、教育芸術社がよいのではないかという結論でした。

教育長

そうですね。教育芸術社は自分の歌声を見つけようということで、変声期への配慮等もあっていいということでした。

それでは、音楽、器楽については、調査委員会も湖南省と同じように教育芸術社でよろしいでしょうか。

各委員

— 全員承諾 —

事務局

美術、日本文教出版です。「作者の言葉を作品の解説に用いることで、造形活動の感情表現、作風の理解につながる。『造形的な視点』が示しており、生徒自らが知識、理解や表現方法について探る仕組みとなっている。図や写真が大きく、文字の配置も工夫され、大変見やすい構成になっている。アール・ブリュットの作品等を紹介するなど、多様性の尊重を適切に扱っている」

日本文教出版は、図版が魅力的でした。加えて、美術に影響を受けた俳優の言葉や数多くの鉄道デザインを手がけたイラストレーターの言葉を載せています。最先端で活躍しているアーティストのアイデアスケッチを掲載し、作者の考えや言葉から、子どもたちの発想や構想のヒントへつながっています。また、普段の生活ではあまり知ることのできない職業や伝統工芸士の技から、自分の可能性を見つめ、将来の職業に結びつけられる機会としても捉えることができます。3社の中で唯一、日本文教出版は、アール・ブリュットの作品を掲載しています。

調査委員会では、三者三様の特徴があり、おおむね大きな差はありませんでした。

開隆堂出版は、写真や図が全体的に小さく、一つ一つの作品に迫力が感じられませんでした。

光村図書は、迫力が感じられるが、全体的に図版が小さく細々として

いるという印象です。

教育長

美術の日本文教出版は、湖南省の事前研究と一緒にですね。

委員

3社とも特段の差はないと感じましたが、図や写真を見て日本文教出版を押ししました。ただ、光村図書の木版の紹介のところは、そこだけ紙質が違うという、斬新な取組をされていました。実際に生徒が見たときに、材質によってこうも印象が変わるのか、というのが教科書で確認できるというのは大きなポイントだと思いました。

事務局

教科書全体の大きさを比較すると、光村図書だけがA4サイズで、他社のA4ワイドに比べ、図や写真でどうしても迫りに欠けました。教科書の冊数は、光村図書と開隆堂出版が3年間で2冊、日本文教出版だけが3冊でした。

光村図書は、教科書の一部で紙の質を変える工夫をしたり、作品の前にトレーシングペーパーを挟み込んだりしています。しかし、紙質を変えるなら本物に近いものを使用すべきですし、トレーシングペーパーを使う目的が果たしてこの作品を見る上でほんとうに重要なのか意見が分かれました。

教育長

光村図書はもっと本物に近付けた方がいいですね。光村図書は、小学校の国語科の教科書で、初めてほんとうの点字を入れました。しかし、点字の突起が中途半端でした。そういう惜しいところがありますね。

委員

日本文教出版は、近代美術の考え方に捉われていて、その考え方が少し古いのではないかと思います。子どもたちは変化したメディアの中で美術を見て、絵を描いたりしているわけですから、もっと積極的に変化したメディアを取り入れた美術教育を今後考えていく必要があると思います。

教育長

日本文教出版は、3社の中で一番子どもの感性に近いと思います。

委員

私がそういう話をしたときに調査委員長は、日本文教出版の1ページ目を開けたところにアニメの原画が来ているので、日本文教出版はそういうところをよく考えていると言われました。

教育長

それでは、湖南省としても、中学校美術の教科書に日本文教出版を採用するという事にいたします。

各委員

— 全員承諾 —

事務局

保健体育、学研教育みらいです。「話し合う、表現する活動が多く取り入れられ、伝える力を養うことができる。健康課題に対して、解決方法を思考し、適切に判断できるような資料が用いられている。資料やデータをもとに協同的に取り組む課題が設定されており、課題解決を通して学んだことを日常生活に生かすことができる。『命』や『人権』を大切に学習につながる内容である」

東京書籍は、様々な領域を横断的に取り扱い、人生の共生や性の多様性について触れています。また、現代社会における課題について前向きに考えられる内容です。

大日本図書は、現代社会の健康問題を取り上げ、ケーススタディを取り入れ思考判断し、他者に伝える力を養う工夫がなされています。

大修館書店は、コラムや事例紹介が充実しており、興味関心が持ちやすく、学びに向かう力を高めることができます。

その中であえて学研教育みらいを採択しましたのは、身近で分かりやすい事例を取り扱っており、学びを深めることができますからです。また、実習を用いた学習が工夫されており、学び方が広がります。生徒同士で話し合い、表現する活動が多く取り入れられ、他者に伝える力を養うことができる教科書です。LGBTなどの現代社会における諸課題を取り上げ、多様性の尊重や共生の視点から配慮や工夫がなされています。また、スポーツを通しての人々の結びつきや世界平和など、全般を通して命や人権を大切に学習につながる内容になっています。

委員

事前の研究会では意見が分かれていました。私は学研教育みらいと大修館のどちらかがいいと思っていました。

委員

私は東京書籍を推していました。保健は、性教育がどのくらい載っているかということを見ました。どこの書籍もあまり載っていませんでした。こんなことでいいのかなというくらい載っていませんでした。ただ、東京書籍は、医学部の准教授の先生が監修しておられるので、そのほうが保健としてはいいのではないかなと思っていました。

教育長

東京書籍は性の多様性について0.5ページだけ書かれていますが、ほかの3社は0ページです。その点で東京書籍がいいのではないかと考えていましたが、そのほかのバランスを見て学研教育みらいが採用されました。

性の多様性についてはこれからですね。東京書籍はSDGs（持続可能な開発目標）も載っていますね。

委員 命や人権は性教育にとっても関連することですので、最低1ページぐらいは割いてほしいなと思います。

教育長 そうですね。これから多分そういう方向に向かうのではないかと思います。

保健体育の教科書については、湖南省教育委員会としても学研教育みらいを採択するということがよろしいでしょうか。

各委員 — 全員承諾 —

事務局 技術、東京書籍です。「基礎的、基本的な知識と技能について、作業工程に沿って、写真やイラスト、詳しい解説が記述されていて分かりやすい。実習例は、問題解決例として紹介されており、写真や内容が理解を深めるとともに、課題解決を構想する力や実践的な態度につながる工夫がされている。作品例の紹介や資料の中で、技術の最適化について詳しく記載されている」

教育長 課題解決型の教科書になっています。

第二採択地区委員会でも、技術分野については調査委員会の報告のとおり、東京書籍になりました。よろしいですか。

各委員 — 全員承諾 —

事務局 家庭科、東京書籍です。「学習をどのように生活に生かしていくのかを考えられる内容である。小学校で学習する内容を写真等で示しており、習熟状況に合わせた指導がしやすい。文字が大きく分かりやすく、写真や図を多く取り入れることで、視覚的に工夫されている。幼児の視覚体験や防災関係の資料が工夫されており、具体的な関わりを実践的に考えることができる」

煮る、焼くに加え、新たに蒸すことについて扱っているのは、東京書籍、教育図書でした。

東京書籍、教育図書は、生徒の考える力や表現力を高め、意見交換できる活動や表現の例について工夫がされています。

東京書籍は、まつり縫い、スナップつけなどの実習で、作業風景の写真の大きさ及び説明が大変充実しています。学習活動の流れが自然で、

実習の説明も写真やイラストを効果的に使い、紙面レイアウトとして最も優れています。学習のまとまりのページは、県教委が示すまとめと振り返りや、湖南省の授業スタイルに則しています。しかし、東京書籍の家庭科は、女の子がするもの、という印象が強いのではないかと感じました。技術と家庭というようにいまだに教科が分かれていますので、必然的に技術は男子、家庭は女子というような意識が向けられるような教科書になっているのではないかという指摘でした。また、外国籍の子どもについての記載が見受けられないとの意見がありました。

長い時間をかけて説明していただきましたが、この時点で東京書籍と決定する材料が見当たりにくいということで、議論が持ち越しになりました。

教育図書は、家族の一員、地域の中での役割、地域の人々と協力・協働しようということが、非常に多く書かれています。しかし、活動の見出しやタイトルのフォントが小さく、写真の大きさや構成のまとまりが不足しており、実習を伴う教科として生徒が自学・自習できる分かりやすい観点が不足しています。

開隆堂出版は、実習の説明が見やすく、「生活に生かそう」というところで活動例を示していますが、考える力の育成の点からは物足りないという印象です。

その点で東京書籍は、実際の自分の生活の中で問題を発見し、そこから課題を設定・計画し、実践、評価、改善し、次の課題に移るという流れで、実際の家庭生活をイメージしやすく、生活を豊かにすることができる教科書になっています。

開隆堂出版、東京書籍、どちらも全ての学習内容の終末に、持続可能な生活や社会をキーワードとした学習活動を示しています。

しかし、教育図書は、持続可能な社会について、消費生活、環境の学習内容で、環境という視点からのみ記載されていて、中学生に求める持続可能な社会のづくり手という点では不十分でした。

全体的に人権に関わるイラストなどの表現について見直したということですが、ここは3社とも配慮された表現に努めていて、大きな差はありませんでした。

東京書籍のイラストは、人権配慮が薄いのではないかといいましたが、お父さんが調理していたり、おじいさんが買物をしていたり、お風呂掃除をお父さんがしていたり、あるいは幼稚園の先生が男性であったり、掃除をしている男性など、様々な配慮がなされていました。

家族・家庭生活と地域とのつながりについて薄いのではないかといいましたが、3社ともほぼ同じボリュームで書かれていました。

東京書籍は、学習指導に関わる構成について十分取り上げていますし、知識、理解、習得したことを思考、判断、表現できるような紙面構成です。身につけさせたい力が効果的につく教科書のつくりになっており、優れています。

2日にわたって議論されましたが、全体のバランスを総合的に見ると、東京書籍がよいのではないかということでした。外国籍の子どもについても書かれている部分があり、考える側、考えられる側、両方によさがあります。地域によって服の着方が異なっていることなども書かれています。中学生の気持ちをつかむために「食」というところから学習が入っているなど、総合的な見地から見て東京書籍になりました。

教育長

議論になったのは、東京書籍か、開隆堂出版か、ということですね。総合的に見て東京書籍がいいというのが調査委員会からの報告でして、第二採択地区としても東京書籍を採択しました。第2回の再審査のときにも、開隆堂出版がいいという意見がありました。

第二採択地区の独自観点、人権、平和、男女平等などの観点からは開隆堂出版のほうが数段優れていました。東京書籍も評価はA、開隆堂出版もAですが、A、B、Cしかありませんので両方Aをつけています。ほんとうは東京書籍にAをつけるなら、開隆堂出版はⒶか、ダブルA、あるいはスペシャルのSなどの、Aとは違う、ワンランクアップの評価になるだろうということです。第二採択地区の独自観点を重視すると開隆堂出版になるのですが、総合的に見て東京書籍になりました。

委員

1回目のとき、調査委員会の報告に対して反論がありました。挙手をすると、8対9で否決になりました。否決になりましたので、もう1回やり直しということで、12日に改めて議論しました。

開隆堂出版だけは、保健体育でも問題になっていました性の問題、LGBTに関して触れています。これは3社の索引を見ると明らかで、開隆堂出版以外のところにはありません。ですから、他社はまだLGBTを意識されていなかったということです。

全体的に見たら東京書籍だという意見が、2回目の議論のときに急に増えてしまって、違和感を覚えました。いまだに納得していません。

ほかの委員からも多様性という点では、東京書籍は偏っているのではないかとの意見がありました。男女を分け過ぎていて、多国籍の家族が入っていません。東京書籍の共存という項目に大きな写真があり、そこに家族の写真が載っています。おじいちゃん、おばあちゃん、お父さん、お母さんと子どもたちの大きな写真が載っている上に小さく、外国籍の人たちも大事にしましょうという文章が載っています。しかし、今は核

家族で、写真のような家族なんてほとんどないですよ。

開隆堂出版の共存に当たる箇所を開いてみると、写真には外国籍の子どもたちもたくさん写っています。そういう単なる日本の家族だけじゃない、もっと広い意味での家族を考えようという考え方が開隆堂出版には感じられます。家庭を考えるとときにはそういうことも考えないといけないと思いますので、2回目の議論は納得がいかないまま帰ってきました。

教育長

第二採択地区の独自観点に照らして見てみると、開隆堂出版は最初の見開きのガイダンスのところで、黒人男性と、日本人女性の家族が写真で載っていました。第二採択地区の独自観点で見ると、開隆堂出版のほうがいいのです。家庭科の先生からすると、教えやすく、どの領域もバランスよく扱っているのは東京書籍でしょうけどね。

委員

私も開隆堂出版推しでした。しかし、全体のバランスと言われると、東京書籍かなと思います。挙手が9対8なのであれば開隆堂出版がいいなと思ってしまいますね。

教育長

挙手したのは、第1回の採択のときです。2回目の再審議のときは一人ひとりの手を挙げるのではなく、対話で決まりました。反対意見もあり、東京書籍への賛成意見もたくさん出てきました。

委員

家庭科の料理の味つけがしょっぱいという意見がありましたよね。すごく大事なことだと思います。しかしそのことに対してはほかの委員からは何もありませんでした。

教育長

多分、著作者研究をしているかと同じくらい、ほんとうに料理を作るという発想がなかったのだと思います。味が濃いのはどの教科書もですからね。

委員

薄味はこれからの流れだと思いますが、みんなに受ける味は自然と濃い味になってしまうのかなという印象がありました。保健体育とも絡んできますが、健康や食育のことを考えると、薄味思考にしたほうがいいと思います。私の作り方も影響しているかもしれませんが、あまり強くは言えませんけどね。

目次を見ると、何を一番に考えているかが分かります。開隆堂出版と東京書籍では、開隆堂出版が家族・家庭が一番に来て、東京書籍は調理・食生活が一番に来ているという点が大きく違うと思います。家庭イコー

ル調理実習というイメージを、東京書籍は引きずっているのかなと思います。

教育長

県にも問題提起はしようと思っていますが、技術分野、家庭科の調査研究をされる方は、第二採択地区6市の中うちの3市から3人選ばれます。道徳と書写は、各市から1人ずつ、6人が選ばれます。書写は教科ではなく、国語科書写ですが、6人で研究しています。技術家庭科は、技術領域を3人で研究し、家庭領域を3人で研究しています。そして、調査委員長は1人です。これは考え直したほうがいいと思いますね。

社会科も、地図は地理と一緒に入れるとして、地理、歴史、公民という3領域ありますが、6市から2人ずつ選んでいます。もう1人増やして、3人ずつ選び、それぞれの領域に委員長をつけたほうがいいと思います。委員長は掛け持ちで地理の調査グループに出たり、歴史に出たり、公民に出たり、それを1人で報告しますからね。仕事量が多過ぎるのではないかと思います。法律的に決まっているのならそこを変えてもらわないといけませんし、問題提起しようと思っています。

家庭科は、第二採択地区では東京書籍を選びました。しかし、総合的に見るのか、第二採択地区の独自観点を優先するのかなど、問題が残ります。採択委員の先生たちは、現場で家庭科の授業を教える観点で教科書を選んでいて、東京書籍がバランスよく載っているので東京書籍にしたのだろうと理解しています。

委員

調査結果に対する批判があったことは記録に残すべきですね。

教育長

それは残します。調査結果と、調査方法、調査人数ですね。その辺についてはまた県に申し入れたいと思います。

委員

何もないと、全体的に賛成して決まったようになってしまって、そこで議論されたことが消えてしまうのでね。

教育長

それでは湖南省は、家庭領域の教科書は、東京書籍を採択するが、問題も含んでおり、調査研究についても人数的な面で改善すべきところがあるということを記録しておきます。よろしいでしょうか。

各委員

— 全員承諾 —

事務局

外国語、東京書籍です。「映像を活用することにより、『目的・場面・状況』への気づきを促す工夫がされており、4技能5領域がバランスよ

く取り入れられている。身に付いた力を確かめたり、グループで活動して情報を収集整理したことをもとに、発表ややり取りを通して交流をしながら、自分でまとまりのある英文を書いたり話したりする構成になっている。『人権尊重』『世界平和』『環境』を中心に現代的な課題について題材として豊富に取り上げている」

東京書籍は、小学校でも使用しており、現代的な諸課題に関連する題材が充実していて、バランスがよいという評価を受けています。

開隆堂出版は、関連する内容を読んだ上で簡単にまとめたりやり取りをする活動が多く、自分の考えを表現したり、相手の考えを知るための活動は比較的少ないという指摘です。

三省堂は、豊富な活動設定や語彙の提示は、習熟度の低い生徒やモチベーションの低い生徒にとっては情報量が多く、負担感につながります。

教育出版は、テーマ設定に基づき、一定情報をもとに内容を整理して行うような自己表現活動が比較的少なく、もう少し段階的に設定されることが望ましいです。

光村図書は、全体的に情報が精査され、シンプルな構成になっているものの、言語活動を発展させるために活用できる語彙などの掲載がやや少なめです。

啓林館は、全体として人権尊重や世界平和に関する題材の取扱いがやや少なめでした。

委員

湖南省は2人で研究して、1人は1番目が開隆堂出版で、2番目が東京書籍でした。

私は、光村図書推しでした。小学校の英語も東京書籍ですので、そのつながりも考えて東京書籍が選ばれたことに関して反対はないです。ただ、光村図書のほうが英語をほんとうに学ぶという点では、編集している人もネイティブアメリカンの方が複数入っていますので、ネイティブのテキストに近い形での実践的な教科書の編み方をしています。これから日本の子どもたちが英語を学んでいく上では、光村図書のような教科書を採用していくほうがいいのではないかという気持ちがありました。

教育長

難しい教科書を選んだなという感想です。英語が不得意な私は、開隆堂出版を選んでほしかったです。開隆堂出版は事前の研究会でも言いましたように、1ページのワードが少ないです。しかし今は、小学校5年生、6年生から英語を勉強してきているのですね。

ニューホライズンという新たな地平に向かって勉強していただくということで、東京書籍でよろしいでしょうか。

各委員

— 全員承諾 —

事務局

道徳、日本文教出版です。「いじめ問題や社会参画について、多様な捉え方ができるよう集中的に教材が配置されている。いじめ問題については、直接的・間接的教材でユニット構成がされており、現代的な課題について考えたり、視野を広げる資料である『プラットホーム』とも関連させている。『道徳ノート』は、成長を記録できたり、保護者記入欄があったりし、家庭との連携が図れる。また、発問が記入されていないので、授業者が発問を自由に設定できる」

東京書籍は、見開きで読み物等が完結していない教材もあり、次の単元が見開き左側にあることで、そちらに気が取られてくる生徒が出てくるのではないかという意見がありました。

教育出版は、学びの記録に書き切れるスペースがなく、生徒が十分に振り返ることができず、挿絵や写真が必要最低限に抑えられており、平たんな印象があります。

光村図書は、1ページ内の情報量が多過ぎる部分があるという意見がありました。学びの記録に書き切れるスペースが少ないという指摘もありました。

学研教育みらいは、教材下部のメモは記述できる部分が小さく限られています。あまり有効とは言えないような書き方でした。

廣済堂あかつきは、本冊の教材と別冊の道徳ノートの2つを使いこなすことが難しく、全体的に写真が小さいです。挿絵が少なく文字だけのページがあり、生徒にとって内容を理解しにくいと思われます。

日本教科書は、教材が内容項目別に配置してあるので、生徒の成熟度に合わせて授業を進める際にばらつきが生じるのではないかという意見がありました。

教育長

湖南省の事前研究でも日本文教出版でしたね。日本文教出版に勝とうと思ったら、採択されていない教科書会社は内容を変えてこないとだめですね。資料やノートをつけていなかったが、つけたとか、大きさをA4判からA5判に変えないといけません。学研教育みらいは変えてきました。教育出版と廣済堂あかつきは、資料はほとんど同じで、補充教材も変化がありませんでした。この時点で取る気がないと思いましたね。

日本文教出版は、今までは考えてみようの質問が印刷してありました。これを使ったら、日本中どこでも金太郎あめみたいに同じ質問をされて、同じ道徳の授業になると反対していました。しかし今回は、考えてみようの発問は先生の自由になりました。

そして資料も、すべて変えたとはいいませんが、1年生で5つ、

2年生で3つ、3年生で4つ、新資料が入ってきています。日本文教出版は、今採択されている教科書会社であるにも関わらず、さらに変えてきています。相撲で言ったら、横綱がものすごく練習して出てきたような感じですが、そこに勝たなければいけないのに、ほかのところは練習もせず、変えもせず出てきたなと思いました。

委員

編集者も2018年のときと各出版社全部一緒です。ほとんど変わっていないので、考え方は変わっていません。中に入っている話題も、全部調べましたが、一番多くても5つぐらいが2018年のものと変えられているだけで、あとはほとんど一緒です。それで2018年には日本文教出版が選ばれていますので、これはもう変える理由がありません。日本文教出版しかないなとなりました。

しかし、この道徳の教科書は、全面的に内容があまりよくないと思います。1年生から2年生、3年生と上がるにしたがって、どのような形で子どもたちを導いていくかというコンセプトがあまりはっきりしません。1年生も2年生も、同じような話題が並んでいます。そういう点で、道徳に関する考え方が非常に曖昧です。

また、子どもたちの心の問題が重要視されています。自信を持った子どもになるような教え方と、もう1つは他人、友だちと仲よく、いじめのない世界をつくることに非常に力が注がれています。そういう子どもが今、この国際社会の中でどういう位置にいるかということに対する学びが非常に少ないです。ですので、閉ざされた内向きの教育になってしまっています。これはもう道徳の教科書全体を考える時期に来ていると思います。

もし道徳をするなら、もう少し子どもたちが新しいあり方を学べるような教科書にしていく必要があると思いました。

教育長

これは道徳の教科書の問題というよりも、道徳の授業そのものをどうするかという問題でしょうね。来年度の教育方針に哲学対話という用語を入れようと思っています。哲学対話とは、1つの答えに導かれるのではなく、身近な問いから出発し、グループで話し合いをして、それぞれの人の考えを深めることです。この教育手法は古くからありますが、特に道徳では増やしていくことが大切ですね。1つの価値に向かってこれはこうだと教え込む、そういう教科ではないということを、各学校の指導者に意識してもらいたいと思います。

日本文教出版の教科書が採択されていて、ほかの教科書会社もほぼ変えてきていないということを見ると、日本文教出版を採択するのが現状では一番いいだろうと思います。よろしいですか。

各委員 — 全員承諾 —

事務局 ここで特別支援学級の一般図書についてご説明させていただきます。  
特別支援学級、小学校の一般図書は、こちらの一般図書を採択しています。その選定理由は書いてあるとおりです。

同じく中学校の特別支援学級の一般図書ですが、理科が3冊、保健体育が1冊です。

以上、教科用図書第二採択地区協議会における全ての種目の調査結果について説明しました。よろしくお願いいたします。

教育長 特別支援学級の教科書は、一般図書からの採択も可能となっています。小学校は、去年採択しましたが、廃版になっていたりする教科書もありますので、1年ごとに採択し直します。また、その子の発達段階に応じて教科書をいろいろ工夫していくこととなりますので、教科書を毎年選んでいただいています。

これについては調査委員会の結果を受けて、第二採択地区でもそれを尊重して採択をしています。よろしいでしょうか。

それでは審議結果につきましては異議なしと認め、議案第48号につきまして可決することによろしいでしょうか。

各委員 — 全員承諾 —

教育長 異議なしと認め、議案第48号の審議結果を可決いたします。

議案第48号、令和3年度の使用教科用図書の採択については、以上で終わらせていただきます。

続きまして、日程第2議案第49号、後援名義の使用承諾について、生涯学習課から説明をお願いします。

事務局 8月の定例教育委員会で再審議になりました後援名義の使用承諾について再度説明させていただきます。

名称 M I Oサッカースクール湖南校体験会（後援）

主催 株式会社M I Oスポーツ

期日 令和2年9月4日、11日、18日、25日

会場 甲賀高分子スタジアム

趣旨 小学生の女子限定のスクールの体験会

前回提出させていただいた資料から変更は特にごさいません。ただ、前回不足しておりました点について、再度説明させていただきます。

MI Oびわこ滋賀サッカースクールの、株式会社MI Oスポーツは、日本フットボールリーグのチームの1つであるMI Oびわこ滋賀を運営しています。MI Oびわこ滋賀は滋賀県より滋賀スポーツ大使を委嘱されている団体です。こちらが運営しているサッカースクールは、草津市、東近江市、甲賀市、栗東市、湖南市にごさいますして、今現在、どの市もこういった体験会などの後援等はしていません。しかし、ホームタウンである草津市、東近江市と、試合を開催するホームスタジアムのある甲賀市では、全小学校の児童にチラシを配布されています。栗東市は、小学校のグラウンドを会場として貸しています。

湖南市も、10年ぐらい前は市民グラウンドでホームスタジアムのように試合等を開催していましたが、現在は開催されていません。小中高校生の下部組織は市民グラウンドやサンビレッジを利用して練習していません。湖南市にも通常のサッカースクールは既にありますが、今回は県内で初めてオリンピック出場選手をお招きしての女子スクールを立ち上げるということで、市内小学校でチラシを配布したいという後援申請をされています。

このように滋賀県のスポーツ振興にも貢献されている団体でもありませんので、今回は無料体験会だけでしたら後援することに問題はないかと考え、提出させていただきました。しかし前回の教育委員会でもご意見をいただきましたように、その後のスクールへの勧誘にもつながるチラシであるということと、今現在は湖南市ではホームタウンやホームスタジアムといった関係はないということをお考えして、今回の後援の承諾は難しいのではないかと考えています。

教育長 女子限定スクールの日時や入会金、年会費を消したビラは作れないということですね。9月4日、11日、18日、25日の無料体験会だけのビラなら後援名義を出してもいいと思うという意見が前回出ていましたが。

事務局 その点については、すみません、確認は取れていません。

教育長 このチラシが直らないのなら、「後援湖南市教育委員会」というのは入れにくいと、前回もお話ししておりました。入会金やこれから続けるのにはこういうお金が要りますよというところが消せないのなら、「後援湖南市教育委員会」を入れるのは無理かなと判断します。

後援名義は出さないが、興味のある人は持っていきなさいという形で昇降口等に置いていただくというのは可能ですので、そういう扱いにし

たいと思います。

それから、昨日臨時校長会で言いましたが、仮にポスターを貼ってほしいという要請があった場合の可否判断をするのは学校長です。学校長が貼ってもよいと判断するところには貼ってもいいです。

それでは、M I Oサッカースクールの後援名義については、湖南省教育委員会としては、後援名義は承諾しないということにしたいと思います。

それでは審議結果につきましては異議ありと認め、議案第49号につきまして審議結果を否決することによろしいでしょうか。

各委員

— 全員承諾 —

教育長

異議ありと認め、議案第49号の審議結果を否決いたします。

以上が議案です。

日程第3の協議事項は何かありますでしょうか。ないですか。

慎重にご審議、また積極的なご意見をいただきましてありがとうございました。今回の教科書採択を通じていろいろな問題点や改善点を感じることができましたので、私から第二採択地区協議会の委員長として、県の教育委員会に届けたいと思いますので、よろしく願いいたします。本日はありがとうございました。

閉会 午後0時13分